

中1社会 幕府政治の行きづまり

講師：河原 数馬

<学習内容>

- ▶ ゆらぐ幕府の支配
- ▶ 幕府の対策
- ▶ 日本の開国
- ▶ 不平等条約の締結
- ▶ 井伊直弼の暗殺

ゆらぐ幕府の支配

■大塩の乱

1830年代には、ききんが全国をおそい、多くの^{がししや}餓死者がでた。大阪の元役人・^{おおしおへいはちろう}大塩平八郎が、ききんで苦しむ人々を救うために、大商人などをおそった（大塩の乱）。

幕府の対策

■^{てんぼう}天保の改革

1841年、老中の^{みずのただくに}水野忠邦は、幕府の力を回復させるために^{てんぼう}天保の改革をおこなった。

■^{てんぼう}天保の改革の内容

- ① 儉約令
- ② 政治批判などを禁じる。
- ③ 江戸に出稼ぎにきている農民を農村に返す。
- ④ **株仲間の解散**
⇒物価を下げるため。



◀ 水野忠邦

四択問題

天保の改革の内容として正しいものを選びなさい。

- ① 上げ米の制などを実施し、幕府財政の立て直しを図った。
- ② 株仲間結成を奨励し、幕府財政の増収をめざした。
- ③ 飢饉に備えて、困米も行った。
- ④ 物価の引き下げを狙い、株仲間を解散させた。

④

日本の開国

■ペリー来航

1853年に、アメリカのペリーが艦隊を率いて日本に来航した。ペリーは日本に開国を要求したが、幕府は回答を翌年に引き伸ばした。



▲ペリー艦隊の船



▲ペリー

日本の開国

■日本の開国

再び日本に来たペリーと、幕府は日米和親条約を結び、日本は開国した（1854年）。

⇒日本は、下田（静岡県）とはこだて函館（北海道）の港を開港した。



▲横浜に上陸するペリー一行

日本の開国



▲日米和親条約で開かれた港

不平等条約の締結

■不平等条約

1858 年に大老のいいなおすけ井伊直弼は日米修好通商条約を結んだ。



▲井伊直弼

■日米修好通商条約の主な内容

- ① 日本は関税自主権を持たない。
- ② 日本はアメリカの領事裁判権（治外法権）を認める。

※関税自主権…輸出入品の関税率を自主的に決める権利。

※領事裁判権…外国人の犯罪はその国の領事が裁判する権利。

不平等条約の締結



▲日米修好通商条約で開かれた港

入試問題（平成 25 年度 岩手県公立高校入試問題・改）

江戸時代の末に諸外国と結んだ修好通商条約について、次の文は、この条約により、わが国の産業が受けた影響について述べたものです。このような影響をもたらした条約の内容を簡単に書きなさい。

イギリスから安い価格の綿製品が大量に輸入されたことで、大阪をはじめとするわが国の綿製品の生産地は、大きな打撃を受けた。

関税自主権がないこと。

井伊直弼の暗殺

■幕府への批判

幕府の弱い外交姿勢や、貿易開始に反対する運動を行う人々が現れた。

⇒井伊直弼い い なお す けは、幕府を批判する人々を処罰し、
吉田松陰よ し だ し ょ う い んらを処刑した。(安政の大獄)

井伊直弼の暗殺

■井伊直弼の暗殺

安政の大獄に反発した武士たちが、井伊直弼を暗殺した。

⇒これを桜田門外の変という。(1860年)



◀ 桜田門外の変